

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 中央図書館											
	作成責任者	浅田 久子											
	事業名	資料収集整理事業											
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費	会計	一般会計	事業コード	630301	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる								
	開始年度	昭和21年度											
	終了予定年度	平成42年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	資料の収集は図書館の根幹であり、資料収集方針に則り、幅広い分野から計画的に図書を購入・所蔵し、利用者の学習意欲や知る権利を満たす。特に子どもの読書活動推進計画に沿って、絵本や児童書を充実させ子どもたちがより読書に親しめる環境づくりを促進する。郷土資料など地域の情報を整理保存して「地域の情報ステーション」となるとともに、通勤・通学・商業の拠点として三たん地域の住民の需要に応える蔵書を確保し、					
	対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三丹地域在住者	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.5	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	株式会社図書館流通センター					
	事業概要	中央館及び三和分館・夜久野分館・大江分館の地域に根ざした特色ある図書館づくりを進めるため、地域の情報、保存すべき資料、閲覧・貸出ニーズの高い資料を収集する。所蔵資料を検索・閲覧・貸出可能な有用な状態に整理する(ICタグにより電子情報と結び付ける)。利用者が望む資料にたどり着けるよう、展示方法を工夫し、案内し、調査の支援を行う。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		需用費	新聞35紙・雑誌232種購入経費			3,200	
委託料		書誌データ及びICタグ作成業務委託料			1,900		
使用料及び賃借料		オンラインデータベース4種を利用可能とする使用料			1,200		
備品購入費		資料(一般書・児童書・絵本等)11,162点購入			18,770		
関連事業	中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業(図書館)						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	27,261	27,128	27,057	23,368	
	②補正予算			0		
	③流充用額	18	164	△ 1,604		
	④繰越額計	0	0	0	0	
前年度繰越			0	0		
			0	0		
予算と執行の状況	財源内訳(①④内訳)					
	一般財源	17,334	17,092	15,230	13,703	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	9,945	10,200	10,223	9,665	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数(正職/嘱託)	1.09/1.38	1.1 / 1.53	1.13 / 2.15	1.13 / 2.15	
	⑤概算人件費	12,170	12,625	14,415	14,415	
	⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	39,449	39,917	39,868	37,783	
	⑦執行額	27,279	27,091	25,070		
	執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	100.0%	99.3%	98.5%	0.0%	

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	年間来館者数(全館)	人	277,639/290,000	265,334/300,000	252,790/330,000	/	330,000	330,000
実利用人数(貸出人数 移動分除く)	人	11,983/12,000	11,797/12,100	11,700/12,200	/	12,200	12,200	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	年間資料貸出冊数(全館)	冊	640,359/520,000	634,336/540,000	615,800/600,000	/	600,000	600,000
		単位あたりコスト	0.0	0.0	0.0			
	蔵書点数(全館 寄贈受入含む)	点	279,676/279,000	287,148/288,000	295,000/297,000	/	315,000	315,000
	単位あたりコスト	0.1	0.1	0.0				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	より魅力的な図書館を目指すために、新鮮で豊富な資料が必要であり、蔵書や利用の状況を見ながら継続的に収集していくことで、多くの市民に利用いただけるものとする。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	人口に比較して、図書館登録・利用者の割合がもっと増えることが望ましい。図書の新規購入以外に、市内の分館や京都府内の図書館との相互貸借制度を活用し、本を相互に流通させて有効活用している。本の特集展示などについて新聞社へ積極的に広報を行い、低コストで効率的に図書資料のアピールを進めることができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	新中央館の新館効果が薄れて定着期に入っているため、現状のままでは目標達成は困難である。新たな利用者を図書館に呼び込むため継続的な取り組みが必要。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>本事業は図書館の本質にかかわる事業であり、蔵書の充実度や構成は指標(来館者数・貸出冊数)に確実に影響する。しかし影響は即座に現れず数年程度の遅れがあると思われる。</p> <p>4年前に完成した新中央館の新館効果と書架の大幅な拡大により利用が増えたが、現在は毎年減少傾向にあり、新規利用者を増やすための方策が必要である。</p> <p>一方、利用者一人当たりの貸出数は目標値を超えており、利用者満足度は高いと思われる。</p> <p>また、三たん地域の住民による利用も多く、通勤・通学・買い物で本市を訪れる方の集客に一定の効果が認められる。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>図書館への来館者が増えるよう、市内各種イベントと連携した企画、展示など更に取り組み、情報発信に取り組む。</p> <p>有用で保存価値のある資料、地域や世の中の流れに沿ったニーズの高い資料をタイムリーに提供するなど、利用者の多様なニーズに応える蔵書を構成する。</p> <p>明智光秀関連資料など、郷土資料を精力的に収集・整理し、地域情報の拠点として機能を強化する。</p> <p>来館者が適切な資料を探し当てられるよう、レファレンス機能の充実などお客様サービスの向上を図る。</p> <p>福知山公立大学図書館及び近隣市図書館との連携を更に発展させ、相互の図書館利用をPRし、北近畿の中核となる図書館としてサービス拡充を図る。</p>	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 中央図書館											
	作成責任者	浅田 久子											
	事業名	中央館運営事業											
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費	会計	一般会計	事業コード	630302	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる								
	開始年度	昭和21年度											
	終了予定年度	平成42年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館中央館において安定した図書館サービスを提供し、市民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。										
	対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三丹地域在住者			対象者数	78,000		単位あたりコスト	1.0			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	図書館機能を充実し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。 関係機関・関係団体と連携し、北近畿の中核となる図書館サービスの拡充を図る。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
		報酬・報償費	図書館協議会委員報酬、研修講師謝礼					208				
賃金		臨時職員雇用経費					21,500					
需用費・役務費		図書用消耗品、移動図書館車燃料費、通話料、郵送料等					4,000					
委託料・使用料及び賃借料		図書館情報システム及び機器保守料、図書館情報システム使用料等					12,600					
備品購入費・負担金補助及び交付金・公課費		ブックトラック、日本図書館協会年会費、自動車重量税等					409					
関連事業	資料収集整理事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業(図書館)											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
配当予算	①当初	38,945	41,497	39,934	37,105		
	②補正予算			0			
	③流充用額	△ 178	1,419	△ 122			
	④繰越額計	0	0	0	0		
	前年度繰越			0	0		
	次年度繰越			0	0		
予算と執行の状況	財源内訳	38,643	42,767	39,663	36,938		
	国支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他特財	124	149	149	167		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
従事職員数 (正職/嘱託)	4.56/2.48	4.66 / 1.97	4.12 / 2.27	4.12 / 2.27			
⑤概算人件費	42,680	42,205	38,635	38,635			
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	81,447	85,121	78,447	75,740			
⑦執行額	36,427	38,904					
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	94.0%	90.7%	0.0%	0.0%			

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	年間来館者数	人	250,896/262,300	238,778/272,300	229,000/302,300	/	302,300	302,300
実利用人数(貸出人数 BM除く)	人	11,983/12,000	11,797/12,100	11,700/12,200	/	12,200	12,200	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	年間資料貸出冊数	冊	581,304/459,000	574,677/479,000	566,000/539,000	/	539,000	539,000
	単位あたりコスト		0.1	0.1	0.0			
			/	/	0	/	0	
単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
必要性		市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・公立図書館は乳幼児から高齢者まで、住民すべてが情報や知識を得ることのできる必要不可欠な場である。 ・福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者のニーズは増加傾向にある。 ・バリアフリー資料、障がいのある人への読書支援の充実は、民間業者では厳しい。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性		受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の図書館登録・利用者の割合が増えることが望ましい。 ・分館や京都府内の図書館と連携し、本を流通させて有効活用している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性		成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	<ul style="list-style-type: none"> ・新中央館の新館効果が薄れて定着期に入っているため、現状のままでは目標達成は困難である。 ・新たな利用者を図書館に呼び込むための様々な取り組みを実施し、一定の成果を上げている。今後においても継続的な取り組みを行う。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>新中央館開館から5年が経過し、新館効果が薄れていることから、来館者・貸出冊数とも減少傾向にある。ただし来館者数に比べて貸出冊数の減少が緩やかであることから、利用者一人当たりの貸出冊数は維持できており、利用者満足度は高いと評価できる。</p> <p>新たな利用者を図書館に呼び込むための様々な取り組みの実施と広報により、一定の成果を上げているとともに、図書館への認知を広めていることは評価できる。</p>		
今後の課題及び方向性		<p>住民の知る自由を保障することは、公立図書館の重要な責務である。この責務を果たすため、職員研修を定期的に行うとともに、外部研修を受講することで専門性を高め、地域の情報ステーションとして質の高い図書館サービスを提供する。</p> <p>利用者にとってよりよい図書館となるよう、資料収集、窓口サービス、各種イベントの実施等について、さまざまなニーズに対しきめ細やかに応えていくことが必要と考える。</p>		

庁内及び外部による評価（棚卸し評価）	二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】		所見

三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	所見	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 中央図書館											
	作成責任者	浅田 久子											
	事業名	三和分館運営事業											
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費	会計	一般会計	事業コード	630303	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる								
	開始年度	平成18年度											
	終了予定年度	平成42年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館三和分館において安定した図書館サービスを提供し、市民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。				
	対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三丹地域在住者	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.1
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	図書館機能を充実し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。 関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。				
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)
		賃金	臨時職員雇用経費			1,675
需用費		図書用消耗品			1,700	
役務費		通話料、インターネット回線			182	
使用料及び賃借料		電子複写機賃借料			100	
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業(図書館)					

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	2,082	2,082	2,062	2,062	
	②補正予算			0		
	③流充用額	160	0	1,604		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越			0	0	
	次年度繰越			0	0	
	財源内訳(①③④内訳)	2,242	2,082	3,666	2,062	
一般財源						
国支出金	0	0	0	0		
府支出金	0	0	0	0		
地方債	0	0	0	0		
その他特財	0	0	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0/0.9	0.08 / 0.75	0.09 / 0.75	0.09 / 0.75		
⑤概算人件費	2,250	2,515	2,595	2,595		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	4,492	4,597	6,261	4,657		
⑦執行額	2,112	1,909	3,657			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	94.2%	91.7%	99.8%	0.0%		

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	年間来館者数	人	5,438/5,500	5,924/5,500
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	年間資料貸出冊数	冊	14,004/15,000	14,990/15,000	15,050/15,000	/ 15,000	15,000
	単位あたりコスト		0.2	0.1	0.0		
			/	/	0	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・公立図書館は乳幼児から高齢者まで、住民すべてが情報や知識を得ることのできる必要不可欠な場である。 ・福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者のニーズは増加傾向にある。 ・バリアフリー資料、障がいのある人への読書支援の充実は、民間業者では難しい。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の図書館登録・利用者の割合が増えることが望ましい。 ・分館や京都市内の図書館と連携し、本を流通させて有効活用している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数、貸出冊数とも、ほぼ横ばいの状態が続いており、一定数の利用者が継続利用されているものと推測する。 ・さらに新たな利用者を図書館に呼び込むため継続的な取り組みが必要。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>地域の住民が減少している中、利用者数、貸出冊数とも目標を達成していることは評価できる。 地域の情報収集や知識習得の場として、三和分館は欠かせないものである。 今後も引き続き、分館の特色を生かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズを把握し、それに添えていくことが大切であると考えます。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>より多くの利用者に来館いただき、利用者一人あたりの貸出冊数を増加するために、利用者の興味を引きつけるための展示や特集を行うなど、具体的な方策の検討が必要である。 他部署や各種団体と連携してイベント等に出向くなど、分館のPRを強化し、読書活動の推進を図る。</p>	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 中央図書館											
	作成責任者	浅田 久子											
	事業名	夜久野分館運営事業											
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費	会計	一般会計	事業コード	630304	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる								
	開始年度	平成18年度											
	終了予定年度	平成42年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館夜久野分館において安定した図書館サービスを提供し、市民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。				
	対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三丹地域在住者	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.1
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	図書館機能を充実し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。 関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容		H30経費(見込値)	
	関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業(図書館)				

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	3,932	3,932	3,907		
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	75	△ 38		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越			0		
	次年度繰越			0		
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	3,932	4,007	3,869	0	
	国支出金	0	0	0		
	府支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特財	0	0	0		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0/0.9	0.08 / 0.75	0.08 / 0.75	0.08 / 0.75	
⑤概算人件費		2,250	2,515	2,515	2,515	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		6,182	6,522	6,384	2,515	
⑦執行額		3,744	3,783			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		95.2%	94.4%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		年間来館者数	人	13,382/14,500	12,503/14,500	13,100/14,500	/ 14,500	14,500
				0	/	/	0	/
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		年間資料貸出冊数	冊	25,739/26,000	24,695/ 26,000	22,600/26,000	/ 26,000	26,000
		単位あたりコスト		0.1	0.2	0.0		
			/	/	0	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・公立図書館は乳幼児から高齢者まで、住民すべてが情報や知識を得ることのできる必要不可欠な場である。 ・福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者のニーズは増加傾向にある。 ・バリアフリー資料、障がいのある人への読書支援の充実は、民間業者では難しい。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の図書館登録・利用者の割合が増えることが望ましい。 ・分館や京都府内の図書館と連携し、本を流通させて有効活用している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・貸出冊数とも減少傾向にあり、現状のままでは目標達成は困難である。 ・新たな利用者を図書館に呼び込むため継続的な取り組みが必要。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>地域の住民が減少している中で、来館者数・貸出冊数とも目標に達していない。来館者数がほぼ横ばい状態に対して、貸出冊数の減少が続いていることが課題である。</p> <p>地域の情報収集や知識習得の場として、夜久野分館は欠かせないものである。</p> <p>今後も引き続き、分館の特色を生かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズを把握し、それに役立てていくことが大切であると考えます。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>夜久野分館独自のイベントである「本の福袋」や「大人のためのおはなし会」は好評を得ており、一定の集客効果が得られている。</p> <p>より多くの利用者に来館いただき、利用者一人あたりの貸出冊数を増加するために、利用者の興味を引きつけるための特集展示を行うなど、さらに具体的な方策の検討が必要である。</p> <p>他部署や各種団体と連携して各種イベント等に出向くなど、分館のPRを強化し、読書活動の推進を図る。</p>	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 中央図書館											
	作成責任者	浅田 久子											
	事業名	大江分館運営事業											
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費	会計	一般会計	事業コード	630305	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる								
	開始年度	平成18年度											
	終了予定年度	平成42年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館大江分館において安定した図書館サービスを提供し、市民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。				
	対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三丹地域在住者	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.1
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	図書館機能を充実し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。 関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。				
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容		H30経費(見込値)	
		賃金	臨時職員雇用経費		1,800	
需用費		図書用消耗品		51		
役務費		通話料、インターネット回線		105		
使用料及び賃借料		電子複写機賃借料		95		
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業(図書館)					

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
配当 予算	①当初	2,064	2,064	2,038	2,066		
	②補正予算			0			
	③流充用額	0	46	38			
	④繰越額計	0	0	0	0		
	前年度繰越			0	0		
	次年度繰越			0	0		
	財源内訳(①③④内訳)	2,064	2,110	2,076	2,066		
予算と執行の 状況	一般財源	2,064	2,110	2,076	2,066		
	国支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他特財	0	0	0	0		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0/0.9	0.08 / 0.75	0.08 / 0.6	0.08 / 0.6		
	⑤概算人件費	2,250	2,515	2,140	2,140		
	⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	4,314	4,625	4,216	4,206		
⑦執行額	1,994	2,080	2,051				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	96.6%	98.6%	98.8%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		年間来館者数	人	7,923/7,700	8,129/7,700	5,150/7,700	/	7,700
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	年間資料貸出冊数	冊	19,312/20,000	19,974/20,000	12,150/20,000	/	20,000	20,000
	単位あたりコスト		0.1	0.1	0.0			
	単位あたりコスト		/	/	0	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者のニーズは高い。 ・地域の特色を生かした図書館の運営は、民間事業者では厳しい。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の人口に比較して、図書館登録・利用者の割合がもっと増えることが望ましい。 ・市内の分館や京都府内の図書館と本を流通させて有効活用している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・7月豪雨災害による休館などがあったため、目標達成は困難である。 ・リニューアルする図書館に新たな利用者を図書館に呼び込むため継続的な取り組みが必要。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>7月豪雨で被災し、約2ヶ月間の休館、その後、臨時の仮設図書館による運営など、不十分な状態が続き、来館者数、貸出冊数ともに減少した。地域の情報収集や知識習得の場として、大江分館は欠かせないものであり、リニューアルを契機に新たな館の情報発信に努め来館者数、貸出冊数が回復するよう工夫が必要である</p> <p>これまで以上に、分館の特色を生かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者のニーズに応じていくことが大切であるとする。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>リニューアルオープンする大江分館へ、より多くの利用者に来館いただくために、特集展示やそれに合わせた情報発信など、具体的な方策の検討が必要である。</p> <p>他部署や各種団体と連携して各種イベント等に出向くなど、分館のPR及び読書活動の推進を図る。</p>	

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額への反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 中央図書館											
	作成責任者	浅田 久子											
	事業名	佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業											
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費	会計	一般会計	事業コード	630308	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる								
	開始年度	平成6年度											
	終了予定年度	平成42年度											
	関連計画等	第2次福知山市子どもの読書活動推進計画											
	根拠法令等	図書館法 子どもの読書活動の推進に関する法律											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	すべての市民に読書の楽しみを届け、学習機会を提供することで、読書活動の普及・図書館活動への理解と利用促進につなげるため、講座・講演会・研修会等の事業を実施する。具体的には、おはなし会や子ども向けのワークショップ、大人向けの読みきかせ等についての講演会やボランティア養成講座を開催することにより読書活動の推進を図る。						
	対象者	乳幼児から大人まで	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.2		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等							
	事業概要	講座・講演会等事業としては、子ども向けには図書館内や出張の各種おはなし会、大人向けには読みきかせのボランティア養成講座や講演会・研修会等を開催する。 また、平成30年度より、健康推進課から所管替えとなったブックスタート事業を実施している。4か月健診時に絵本をプレゼントするとともに、ボランティアさんによる読みきかせを親子で体験してもらうことにより家庭での読みきかせにつなげるほか、図書館のおはなし会のチラシを配布するなど、図書館利用の促進を図る。						
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)				
		報償費	ブックスタートボランティア謝礼 等	318				
	旅費	講師費用弁償	3					
	需用費	ブックスタートプレゼント絵本、絵本袋 等	887					
	役務費	ボランティア保険保険料	5					
関連事業	資料収集整理事業、中央館運營業、分館運營業(三和・夜久野・大江)(図書館)							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	1,593	569	1,673	1,528	
	②補正予算			0		
	③流充用額	15,540	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
一般財源	18	55	65	93		
国支出金	0	0	0	0		
府支出金	0	0	0	0		
地方債	0	0	0	0		
その他特財	17,115	514	1,608	1,435		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
従事職員数 (正職/嘱託)	1.11/0.9	1 / 1.25	1.12 / 1.25	1.12 / 1.25		
⑤概算人件費	11,130	11,125	12,085	12,085		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	28,263	11,694	13,758	13,613		
⑦執行額	15,588	298	1,213			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	91.0%	52.4%		0.0%		

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	保護者による10か月児への読みきかせ実施率	%		84 / 90	94 / 90	92/90	/ 90%以上
図書館の児童書・絵本貸出冊数増加率	%		350,488/ 346,888	352,540/350,488	320,000/352,540	/ 前年比5%増	前年比5%増
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	おはなし会等実施回数	回	159 / 180	160/ 180	152/180	/ 180	180
	単位あたりコスト		98.0	1.9	7.9		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		0

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者でも事業者負担で実施することは可能だが、ほとんど実施されていない。 ・実績のある講師を招くことで、市民やボランティアの学習機会を確保している。 ・生涯を通じた読書の大切さ、とりわけ乳幼児期の読みきかせの重要性は広く
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなボランティアを育成し、そのボランティアが図書館や学校・地域で読みきかせをすることにより、読みきかせの裾野を広げ、読書活動の推進に貢献している。 ・読みきかせやボランティアの裾野を広げるため、参加者からの一定の負担は検討していない。また、負担が無いことで参加者が確保できている面もある。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は、事業棚卸しを受けて見直した。 ・活動実績は見込みに届いていないが、毎年関係機関と連携して新たな取組を行い、事業を進めている。(平成30年度は「けやき広場」との連携や「パパママ学級」での読みきかせの啓発などを実施した)
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>「保護者による10か月児への読みきかせ実施率」から、乳児への読みきかせが一定定着していることは、読書活動普及の点で評価でき、今後も継続させる取組を進めていく。</p> <p>なお、児童書・絵本の貸出冊数も増加しているが、これを中央館のリニューアル効果で終わらせることがないよう、おはなし会の回数増や内容の工夫など、事業を進めていく必要がある。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>すべての市民に読書の楽しさを届けるため、今後は大人、特に図書館まで自分で来ることができない方に向けた取組を検討・実施して行く必要がある。</p> <p>秋季自治会長会で「移動図書館車」の利用案内チラシを配布したが、引き続き利用促進に努めていく。</p>	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 中央図書館											
	作成責任者	浅田 久子											
	事業名	図書館大江分館災害復旧事業											
	会計情報	款	災害復旧費	項	文教施設災害復旧費	目	社会教育施設災害復旧費	会計	一般会計	事業コード	630342	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる								
	開始年度	平成30年度											
	終了予定年度	平成30年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成30年7月に被災した図書館大江分館を復旧させる。										
	対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三丹地域在住者	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.1						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	平成30年7月豪雨災害により被災した図書館大江分館の資料整備やシステムについて、通常の図書館サービスの提供が図られるよう復旧に向けて整備を実施する。										
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)		項目	具体的な内容	H30経費(見込値)								
	需用費	事務用品、備品修繕用消耗品		50								
	委託料	書誌データ・ICタグ作成		150								
	備品購入費	図書資料、閲覧机、書架等施設備品		1,800								
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初			0	0	
	②補正予算			3,786		
	③流充用額			0		
	④繰越額計			0	0	
	前年度繰越			0		
	次年度繰越			0		
	財源内訳(①③④内訳)			3,786	0	
	一般財源					
	国支出金			0		
	府支出金			0		
	地方債			0		
	その他特財			0		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.38 / 0.23	0.38 / 0.23		
⑤概算人件費			3,615	3,615		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			7,401	3,615		
⑦執行額			2,000			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			52.8%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
							/	
							/	
							/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
							/	
		単位あたりコスト					/	
							/	
		単位あたりコスト					/	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・図書館大江分館は、地域の情報収集や知識取得の場として必要不可欠である。 ・地域住民からも図書館の常時開設が望まれており、公共図書館として被災した大江分館の復旧は優先度が高い事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	浸水被害を受けた多くの図書館備品(書棚・机等)について、休校した小学校図書館に保管してあったものを修理し活用することで、コスト削減に努めた。図書館システムの復旧についても、業者に頼ることなく自力で復旧し、委託によるコストを省いた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	浸水被害を受けないために必要な過去からの課題や条件を十分分析し、図書館の2階への移動を決定した。 通常の図書館サービスの提供が図られるよう復旧するため、資料購入や施設備品等整備を進めた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		図書館大江分館の再開という目的に向け、施設備品の修理・調達により、リニューアルオープンの施設整備を適切かつ見込みどおりに進めることができた。	
今後の課題及び方向性		復旧・再開を契機として図書館がリニューアルされるため、これまで以上に利用される図書館となるよう、館の情報発信やPRを進めて行く必要がある。新たな図書館として新たな利用者が創出できるようアイデアやアピールポイントを見い出すことが課題である。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	